

# 議会 だより



# 小豆島町

## No. 26

平成24年11月1日発行



## 獅子のごとく、力強く。

菺田八幡神社、秋の例大祭 獅子舞奉納(福田地区)

- 審議議案  
一般会計補正予算など…………… 2
- 一般質問  
9名の議員が質問…………… 4
- 中学生議会  
15名の中学生議員が質問…………… 8
- 住民の声・まちの力…………… 10

11月17日～18日

# 石の文化シンポジウム 開催準備が本格化

## 瀬戸内国際芸術祭2013

### 9月 定例会

9月定例会が、9月18日から19日までの2日間の会期で開かれ、平成24年度一般会計と2特別会計の補正予算議案が各1件、小豆島町過疎地域自立促進計画の変更議案を含めた9議案が提案され、賛成多数で可決しました。

また、平成23年度の決算認定議案は閉会中に特別委員会で審議されることとなり、平成23年度決算における財政健全化判断比率など5件の報告がなされました。

#### 一般会計

## 追加補正予算額 5億7,564万5千円

#### 審議した主な議案

##### 補正予算

一般会計(第2号)  
追加補正予算額は5億7,564万5千円と大きな額となっておりますが、このうち4億4千万を減債基金(町の借金の返済の増加に備えるために積み立て

る基金)に積み立てます。そのほか、11月に開催される石の文化シン

ポジウムに係る費用や、瀬戸内国際芸術祭開催に向けた建物改修等の費用が計上されました。主なものは次の通りです。



石の文化シンポジウム  
ポスター



修繕される旧JA坂手支店

#### 総務費関係

【瀬戸内国際芸術祭関係】  
郷周辺施設等整備  
工事 3,000万円

芸術祭会場となる馬木地区にトイレ、駐車場を整備するための費用です。

旧JA坂手支店、  
旧醤油組合施設修繕等

569万4千円  
芸術家の活動拠点となる建物の修繕費です。

#### 土木費関係

草壁港乗船通路上屋  
新設工事  
1,500万円

草壁港フェリー切符売り場から高速艇乗り場までに屋根を整備するものです。



屋根が整備される草壁港

#### 漁港整備工事

1,005万円

県補助金の追加内示があったため増額するものです。なお、これにより竹生漁港の高潮対策事業が本年度中に完了する予定です。

#### 教育費関係

高校・大学育英事業  
貸付金 1,521万円

当初想定したよりも多くの申請が見込まれるため増額するものです。

#### 衛生費関係

住宅用太陽光発電設備設置費補助金  
880万円

当初想定したよりも多くの申請が見込まれるため増額するものです。

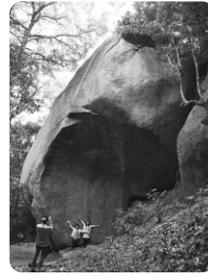


耐震改修予定の星城小体育館

星城小学校体育館耐震等工事実施設計業務委託料 145万2千円  
平成25年度に耐震改修が予定されている、星城小学校体育館の設計業務委託料です。

天狗岩丁場跡遊歩道  
周辺施設整備工事等  
2,026万5千円

岩谷地区の天狗岩丁  
場跡周辺にトイレやモ  
ニユメントを整備する  
ための費用です。



天狗岩へのアクセスが容易に

石の文化シンポジウム  
開催経費関係  
734万円

11月17日～18日にか  
けて行われるシンポジ  
ウム開催経費を計上し  
たものです。

三都半島エリア拠点整  
備経費関係 750万円

瀬戸内国際芸術祭2  
013に向け、来訪者  
の休憩所となる「小豆  
島の家」の設計費用や、  
その他案内看板などを  
準備する経費です。

報告

健全化判断比率

4年連続で改善

財政健全化法に基づく健全化判断比率の  
4指標と、簡易水道事業・上水道事業・介  
護老人保健施設事業・病院事業会計での資  
金不足比率が公開されました。

健全化判断比率の4  
指標には早期健全化基  
準を設けていますが、  
一つでも超えた場合は  
『健全化団体』として  
健全化計画の策定と公  
認会計士による外部監  
査を義務付けられま  
す。町の数値は、実質  
赤字・連結実質赤字比  
率ともに黒字決算なの  
で該当せず、実質公債  
費比率は4年連続で前  
年度より改善する数値  
となりました。(表1)  
また、4事業特別会  
計の資金不足比率は、  
いずれも黒字決算なの  
で該当なしとなりました。



その他の議案

小豆島過疎地域自立促  
進計画(平成22年度～  
平成27年度)の変更に  
ついて

統合病院建設に係る  
費用を起債(国からお  
金を借りる)するため  
に、必要な計画変更で  
す。

谷尻白浜線災害復旧  
工事(2工区)の変更  
契約について

昨年の台風で被害を  
受けた谷尻白浜線道路  
修復工事について、追  
加となる工事が発生し  
たために行った変更契  
約です。  
変更前  
5,932万5千円  
変更後  
7,128万  
3,450円



ほぼ復旧した谷尻白浜線

議員発議

小豆島町消防団の設  
置等に関する条例等の  
一部を改正する条例に  
ついて  
消防組織法の改正に  
伴い条例の条ずれ等の  
整理を行ったもので  
す。



決算特別委員会を  
設置

平成23年度決算認定  
議案が、監査委員の意  
見書とともに町長から  
提案され、閉会中の継  
続審査とすることにな  
りました。

決算特別委員会の委  
員は次の通りです。  
委員長 藤本 傳夫  
副委員長 渡辺 慧  
委員 村上 久美  
森 崇  
柴田 初子  
安井 信之  
新名 教男  
大川 新也

地球温暖化対策に  
関する「地方財源を  
確保・充実する仕組  
み」の構築を求める  
意見書について

意見書が提出され全  
会一致で可決しまし  
た。可決された意見書  
は内閣総理大臣をはじ  
め、関係行政庁等に送  
付されました。意見書  
の概略については次の  
通りです。

「地球温暖化対策の  
ための税」が平成24年  
10月から導入される  
が、その一定割合を森  
林面積に応じて配分す  
る「地方財源を確保・  
充実する仕組み」を早  
急に構築することを求  
める。



# 一般質問

9名の議員が質問に立ちました。

## 島内の宿泊施設の減少について

町「町の支援には限界がある。県が責任を持ってやるべき」

質問 宿泊施設の減少の原因は島への観光客の減少であるが、県と消防の法律改正による改善指摘の指導があり、これが強まれば更に減少する。何か良い手立てはないか。

答弁 小豆島の発展と観光の振興に宿泊施設の果たす役割は大きく重要である。宿泊業は設備投資が莫大なため、利益は薄く中小の宿泊施設では国や県のバックアップの必要性は感じている。観光客のニーズも最近では色々に変化しているので施設もそれに対応せねばならない。宿泊施設が

なければ島の観光は成り立たないが、今ある公的な長期低金利融資を活用して施設の改善に努めてもらいたい。

町レベルの支援には限界があるが、先進的なところでバックアップをしているところがないか、どんな手が打てるか勉強したい。

香川県は瀬戸内国際芸術祭で観光立県を目



浜口 勇 議員



10月から営業を停止したサイクリングターミナル（坂手）

指すと宣言している以上、県が責任を持たねばならない。

## 瀬戸内国際芸術祭に関して

町「10月中には具体的な中身が分かると思うので地元で説明したい」

質問 芸術家村の過去の滞在作家から選ばれた5人の作品展示費用、場所など既に決まっているのか。

芸術祭の成功を願う、地元として協力したいが具体的に内容が伝わって来ない。一体何ができ、何をしたいはいけないのか。地元の予算は。今後の対応は。また、高松大学からの瀬戸芸への協力の話をどのように考えているのか。

答弁 制作に要する費用は実行委員会が負担し、その他バックアップの費用は我が町で負

担することになると思う。10月中位には北川先生と各アーティストが個別に相談し、どこでどんな作品をとることが具体化してくるのではないか。分かります、地元で話したい。

花とアートの三都半島は、従来通り地域での取り組みを継続していただきたい。活動の中に瀬戸芸が加わったという理解で良いのではないかと。予算は、各種看板や展示場の修繕料、休憩所の設置料などについて、補正計上している。また、案内所や休憩所の運営などの費用は協力いただける地区には



森口 久士 議員



神浦地区にある「夕焼けハウス」

新病院の国道を中心とする  
出入りの交通安全対策は

町「関係機関と十分協議して進めていきたい」



中江 正 議員

質問 バスが病院に横づけするのは安全上大切で、その方向で進められていると認識しているが、国道に接する安全な出入り体制を図り、実態調査の必要性と、国道を含め、あの一帯をほぼ完璧な安全地帯にすべきだ。

全地帯にできるかについては、町役場だけでなく、県警、香川県、総合事務所等と十分協議をして問題に取り組んでいく。また、多分将来的にはバイパスをつくるとか、根本的な対策をしなければ平木

あたりの渋滞は本質的には道路の構造にあると思うので、病院以外の対策も並行して検討、協議して進めていきたい。

答弁 病院の敷地内については池田中学校の校舎をどの程度残すか、なるべくスペースを取ることも必要になるので、その辺の問題もあると認識している。

特に、平木あたりは今も交通渋滞が頻繁に起こり、非常に危ないゾーンになっている。病院ができる、さらに状況が悪化する懸念がある。ほぼ完璧な安



池田中学校前での交通安全キャンペーン

オリーブ公園の活用について

町「公園をさらに良くしたい」



森 崇 議員

質問 オリーブ公園は景色も良く観光客も喜んでいる。この施設の活用を見直すべきだ。またオリーブ温泉の脱衣所が暑く感じたが。

答弁 オリーブ公園は素晴らしい。もっと良くしたいので「利用を増やしたい」メンテナンスの時、脱衣所など改善策を協議したい。

各種団体の任務と地元商店の意義について

町「商工業の振興に幅広く取り組んでいく」

質問 小豆島商工業振興審議会の委員を委嘱されたが2年間一度も会議はなかった。町の姿勢が問われている。地元商店の意義や多面的な機能を町広報で広めるべきだ。地元商店利用はどれ位なのか。

でいく。事務用品などは町内購入が原則である。商業協同組合の商品券で13%、商工まつりを含め27%が町関係である。町広報は特集を組み、継続的に掲載する。

答弁 審議会が2年間開かれなかったことは率直にお詫びする。難しい問題なので幅広く委員を選び、取り組ん

お買い物は  
地元商店で



海の復権と  
瀬戸内国際芸術祭  
について

町「小豆島がリードしていきたい」

質問 航路を守らないと小豆島など島国は発展しない。儲からないからと撤退が続いている。「海の復権」は大切だ。来年の瀬戸内国際芸術祭の取り組みに期待している。各会社との連携は。

答弁 いろんな意味で小豆島がリードしていきたい。航路も道路は法律にもある。島サミットのな会議も予算と相談して開きたい。瀬戸内国際芸術祭「共通乗船券」の検討など各社は熱心である。

### 雇用確保について

町「医療、福祉、教育の分野での女性の活躍の場を増やしたい」

質問 女性の雇用が人口減少にかかわってくと考えるが、町としてどのようなプロセスで雇用の確保に関わっていくのか。

答弁 雇用の確保が生活の安定とか人口が減るのを抑える上で、必要不可欠だ。まずは今ある地場産業をしっかりと、小豆島の医療、



安井 信之 議員

福祉をよくして、外からやってくる人たちの増やす原因になると思う。

消防においては、井原市の消防で香川県の女性が活躍している事例があり、前向きに対応したい。



女性の雇用を確保しよう

### 小学校の英語教育について

町「まだ2年目であり、今後の状況を見て検討したい」

質問 JISHINE 小学英語指導者認定資格制度ができていて、小学校の英語教育はどのような指導体制で行っているのか。

答弁 授業は学級担任が中心で社会人特別非

常勤講師と外国語指導助手ALTがサポートとしていて、また、外国語活動が始まって2年目であり、小学校英語指導者認定協議会認定指導者の活動実績の情報がないので、各小学校から

同指導者の配置要望があれば、他市町での状況を見て検討したい。JISHINEの認定の資格等を登録してもらい、雇用があれば検討していきたい。

### 高齢者肺炎球菌ワクチンの公費助成について

町「国の方針を踏まえ検討する」

質問 現在また増加傾向にある肺炎の死亡率は、全国的に第4位である。特に高齢者の肺炎が増え亡くなる人の約95%が65才以上である。

1回の接種で効果は5年間持続するワクチン接種で感染症全体の80%を抑えられる。しかし保険適用がなく、全額自己負担である。県内6市5町がすでに公費助成を実施している。

高齢者の肺炎の重症化を防ぎ、医療費削減にもつながる肺炎球菌ワクチンの公費助成は。



柴田 初子 議員

答弁 国は、初回接種から5年以上経過した場合の再接種の効果や安全性、対象年齢について検討している。国の方針、方向性を踏まえた上で検討していく。

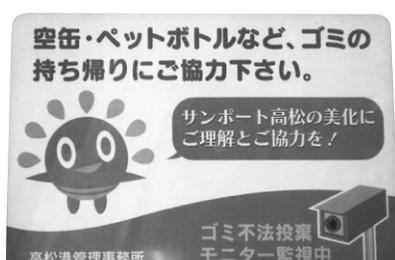
### 一時帰宅者のごみ処理対策について

町「収集日以外の収集は難しい。議員提案は参考にした」

質問 休日に島外から帰省した時に発生するごみの収集日が、平日のために出せないで困っている。また、来年の瀬戸内国際芸術祭に向けてのごみ対策について、イラスト入り立看板とか標語を募集しては。

にご協力を戴きたい。ユニークできれいなごみ箱設置とか、標語の募集は大変参考になる提案なので、その方向で検討する。

答弁 一時帰宅者のごみ処理は、現在の収集日以外に収集するのは難しい。瀬戸内国際芸術祭に向けては、地域の皆さんにも美化運動



サンポート高松にある看板

### 国に対して介護保険制度の緊急改善要請を

町「現行制度内でできることを行う」

質問 介護保険制度の見直しは、生活援助の短縮や新たな利用制限や基幹的サービスの基本報酬の大幅引き下げ、たん吸引など介護職員による医療行為容認等利用者や事業所で働く職員に大変な影響をもたらすもの。現場では、職員の体制が厳しい、医療行為を解禁することは疑問、医療報酬の底上げを利用

師・看護師こそ増やすべき等の意見がある。今回の改正、報酬改正は利用者、事業者の困難と矛盾をもたらしている。国に対して、

①生活援助の見直し撤回と拡充②低所得者の費用負担軽減と支給限度額の引き上げ③3年後の改定を待たない介護報酬の緊急改定、基本報酬の底上げを利用



村上 久美 議員

料に反映させない仕組みづくり等の要請を。

答弁 現行制度の枠内でできることをし、足りないものは特区制度の適用を、より中・長期的な観点で高齢者福祉づくりに努めたい。国に求める考えはない。

### 町営住宅の建て替え、改修、入居条件の緩和を

町「必要な箇所は改修する。入居条件は検討する」

質問 49・51災害で建設した赤坂・谷尻団地はコンクリートの爆裂、テラスの鉄筋等でひどい状況にあり、草壁団地は4階建てで高齢者・障害者にとって住みにくく、バリアフ

リー設備等が必要では。また一人世帯であっても入居できる条件の緩和を。



地盤沈下が進む赤坂団地

答弁 赤坂団地は、改修が必要なものは取り組む。谷尻団地の、傷み等は今後修繕の中で検討する。草壁団地は、設置スペースや費用の問題で難しい。入居条件は、いろんなニーズが考えられるので検討する。

### 病院統合は町民の不安の声にこたえよ

町「医療組合で節目ごとに公表する」

質問 7月に日本共産党が内海地区で行った町民アンケートでは、新病院建設計画の説明が十分にされていないが90%近くあり、反対が63%もあった。十分な説明もなく、反対を押し切って進めず、も

答弁 大多数の町民には理解していただいていると思っっている。今の2つの病院では、医療は崩壊するの



鍋谷真由美 議員

で、医療を確保するために、新病院をつくる。詳細は、今一生懸命関係者と詰めて、奔走し、手探りでやっている。小豆医療組合で作成中の基本計画、新病院建設の進捗状況など、節目ごとに公表する。

### 内海地区の保育環境の充実を

町「来年度までに検討する」

質問 保育所への入所希望者が増えているが、内海保育所の施設の老朽化、狭小化など、子どもたちが楽しく安心して過ごせる環境とはいえず、職員の負担も重い。早急に保育環境の充実を図るべきでは。

答弁 内海保育所では最低基準はクリアしているものの、建物の老朽化に加え、現在の場所では抜本的な解決が難しい。当面、スクールバス等を活用した園外保育や交流保育を積極的に取り入れていきたい。今年度から始まった



職員室を改造して作られた保育室

就学前教育検討委員会で、内海保育所の建てかえと、幼・保の再編を視野に入れて、来年度までに検討する。

草壁港に公衆トイレの設置を

町「全体構想の中で具体化したくない」

質問 草壁港への公衆トイレの設置は以前より要望があるが、埋立完了後に設置でなく、船着場近くに設置を。また埋立地の進捗状況、利用計画は。

答弁 必要性は感じているが、埋立完了後に全体構想の中で具体化したくない。2ヶ所設置は、管理運営上、無理だ。進捗状況は約98%で完了までの約2年間で利用計画を具体化して県に要望する。

旧高橋旅館の焼跡の放置は

町「早期解決に向かって取り組んでいる」

質問 旧高橋旅館の焼跡は3年が経過しようとしているが、放置されたままである。いつ潰れてもいい状態で地元も諦めかけている。もし二次災害が起きてからでは遅いと思う。早期対応を。

対応をしているが所有者の所在が不定で難しい。放置しているのではなく、早期解決に向かって取り組んでいるのでご理解を。



1日も早い解決を

答弁 県と協議しながら建築基準法に基づく



大川 新也 議員

光回線の説明を町民に

町「今後説明会を行う」

質問 町内では光回線の工事が至る所で行われている。本年の目玉事業として多額の資金を投入し、整備が行われているが、町民への光回線導入手続の説明が不十分である。執拗な勧誘電話に迷惑、不安感を持っている。説明会の開催は。

答弁 勧誘に関して商行為であり、町としては積極的に関与は出来ないが、町民に不安を抱かしてはいけない。今後NTTの説明会を開催し、優位性等を周知していきたい。

小豆島町

中学生議会

池田中学校3年生がまちの議員に



10月1日、池田中学校の生徒15人が「議員」となり、町政の課題や学校生活を通じて感じた事柄などを質問する「中学生議会」が開催されました。南海地震への対応や、新病院建設についてなど鋭い視点からの質問がありました。(質問は一部抜粋)



山本 美樹 議員

南海地震に備えての町の対策はなにかありますか。

答弁 公共施設の耐震化や新しい避難場所の設定、あと毛布・食料の備蓄、避難訓練などを実施して、南海地震に備えています。



井上 直道 議員

今の若者の島外流出を防ぐために、どのようなことを考えていますか。

答弁 若者が「帰って来なくなる魅力ある島」を作ることで、その魅力とは、働く場があり、充実した医療、子育て環境があることです。また情報基盤の整備を進めることで、魅力ある新たな産業の創出が



三木 智花 議員

街灯の管理は誰がしていますか。安全のために街灯の数を増やしてはどうでしょうか。

答弁 街灯の管理は各自治会にお任せしており、もし暗い箇所があるというのであれば、その場所の地元の自治会の方と相談したいと思います。



八木 美有 議員

光ファイバー回線が小豆島全体に整備されるのはいつごろですか。

答弁 町内では11月下旬から順次利用可能になる予定です。年度内には島のほぼ全地域で利用可能になります。



三浦 弥子 議員

小豆島以外の地域でもオリーブが栽培されるようになり、観光客も減少するのでは。その辺りの対策はどう考えていますか。



高橋 弘宣 議員

長期の休みになると観光客で道路が渋滞します。何か渋滞緩和策はありますか。

答弁 今後、車を運転できる人も、積極的に路線バスを利用することで、バスも維持しな



村本 千紗 議員

島に新しい観光地、名所を作る案はありませんか。

答弁 最近「柵田や農村歌舞伎の中山」「花とアート」の三都半島などが新しい観光地として期待できます。この貴重な資源にさらに磨きをかけていきたいと考えています。



松下 流也 議員

砂浜にあるゴミの処理は誰が行っているのですか。また何か良いゴミのポイ捨て対策はありませんか。

答弁 砂浜のゴミ処理は主に①ボランティア②海岸管理者により行われていきます。ポイ捨て対策としては、まず



吉元 聖 議員

蒲生の農免口の坂から土庄側に行く国道の歩道が狭く非常に危険です。歩道の舗装拡張工事はできませんか。

答弁 既に工事の計画はできていますが、土地を持つ所有者の方の協力を得るための話し合いをしているところです。もうしばらくお待ちください。



西口 瑠蘭 議員

少子高齢化が進む島で、新しい老人施設建設の予定はありますか。

答弁 今後、高齢化が進む中で、高齢者施設は必要だと思いますが、町としてはまず、自分の家で暮らしながら受



進藤 尚輝 議員

中学校跡に病院を作ったら、今の内海・土庄中央病院はどのように活用されますか。

答弁 内海病院については、一部診療機能を残し、引き続き医療施設として利用します。空いている部分については福祉関係の施設として活用することとしています。



八木 駿之介 議員

小豆島の医療の現状はどうなっていますか。

答弁 医師、看護師の数が全国平均を大きく下回っており、このままだと2つの病院が崩壊してしまう可能性があります。継続した一定水準の医療を提供す



駒井 雅 議員

病院統合で中学校が無くなってしまいますが、池田中の跡であるといったことを何らかの形で残すことはできないのでしょうか。

答弁 モニュメントになるようなものについては、残すよう希望に応えたい。



三木 菜摘 議員

少子化を防ぎ、町内活性化のための取り組みはありますか。

答弁 芸術祭をアートの祭典というだけでなく、アートを通じた地域活性化の糸口を見つけているものとして企画をしています。



正木 智也 議員

統合後、放課後の部活の時間とバスの時間が合わないのではという心配がある。土日祝日の部活動の送迎は保護者のみになるのですか。

答弁 案の段階ですが、スクールバスの時間に間に合うように部活動の終了の時間を考えることにしています。土日の送迎については、路線バスを町から出すバスチケットにより利用してもらう案などを考えています。



15人の池田中学校議員の皆さん

市民の声 Vol.26



不朽の名作、  
二二十四の瞳とともに

森 一弘  
(田浦自治会会長)

「昭和3年4月4日、農山漁村の名がぜんぶあてはまるような瀬戸内海べりの一寒村へ、若い女の先生が赴任してきた。」  
当地区は、昭和29年に封切され、全国を感動と涙で包んだ壺井栄の名作「二二十四の瞳」の発祥の地であり、名作の舞台として全国各地から毎年、20万人を超える観光客が訪れています。  
この作品は、おなご先生と12人の教え子との心温まる交流の数々、出会いの喜び、別れの哀しみ、そして戦争の悲劇を力強く訴え、親から子へ読み継がれる不滅のベストセラーであり、現在も教育の原点にあります。  
分教場の教室にある大学ノートには、新任の先生から教員生活数十年の熟年の先生まで、また、一般の観光客も、小さな椅子に腰かけ、「一度は来たかった：来て、見て、良かった。」と感嘆の感想が綴られています。  
我々地区住民は、日常生活の中で、また、自治会・老人クラブ活動等の中で、訪れた観光客との接点を大切に心がけていま

す。対内的には安全・安心の町づくりと、健康でいきがいのある取り組みとして、花見会・句会・絵手紙・キャンドルナイト・理学療法士による健康づくりの講演・体力測定等、サロン活動の一環として実施しています。  
対外的には、オリーブマラソンの給水活動では、折返し地点に集落が近いため、往復で給水ができるよう左右2カ所に約30名がかりで対応したり、映画村海辺の清掃活動・とんどまつりも地区住民と映画村関係者・山伏の皆さんと合同で、観光客とも一体となった交流を行っています。  
小豆島のみならず香川県の観光名所として、また訪れた観光客との接点として、地域活性化のためにも出来る限り貢献していきたいと考えています。



二二十四の瞳 岬の分教場



まちの **カカ** レッドスターズ

(少年野球)

苗羽レッドスターズは、6年生の部員2人が引退し現在5年生3人、4年生1人、3年生4人、2年生3人、合計11人の部員で活動しています。

毎週、火・木・土・日の4日間、主に苗羽小学校グラウンドで、少ないながらも野球の基本であるキャッチボールから、試合形式の実践的な練習を行っています。その中で、挨拶や礼儀、道具を大切にすることを指導しています。

低学年が多いため、試合の結果はあまり良くななく連敗続きですが、中学、高校と野球を続けて甲子園出場、そして将来はプロ野球選手になることを夢見て、一生懸命ボールを追いかけています。

現在、苗羽小学校の児童数も減少し、チームの部員不足がとても深刻です。将来的にチームの存続ができるかどうか大きな問題となっています。

苗羽レッドスターズは、部員募集中です。ぜひ一度見学、体験入部に気軽に来てください。発展途上中のチームですが、練習試合の相手も募集中です。(→連絡先 代表 平見貴弘 ☎82-2926)

「優勝目指して頑張るぞ!!」



地球温暖化が急速に進んでいるのか、今年の夏も猛暑日が続いた。軽度の熱中症にかかり初めて点滴を受けた。健康でないと皆様の声を届けることが出来ない。理の大切さを改めて実感した。  
9月の定例議会に、多くの方に傍聴に来て頂いた。議案への質疑応答、一般質問は町民の代表として発言をしていく。その様子を直接見て聞いて頂くことは、緊張もするが励みにもなる。これからは、傍聴に来て頂き、町政に大いに関心を持って頂きたい。

編集後記

本紙に対するお問い合わせは

発行 小豆島町議会 ■編集 小豆島町議会広報編集特別委員会

〒761-4388 香川県小豆郡小豆島町池田2100-4 TEL (0879) 75-1100 FAX (0879) 75-0108 E-mail olive-gikai@town.shodoshima.lg.jp